

仁万の里運営組織表の変更

一旦、発表された今年度の運営組織表ですが、一部分変更（裏面）させていただきました。変更部分とその主な理由は次のとおりです。

①「生活支援課長補佐」の位置づけ

これについては、現時点での運営面の課題と今後の運営体制を考慮し、法人側、広域連合、仁万の里管理職で協議し決定しました。

②「生活介護事業」の二班体制

「のびのび班」と「いきいき班」の合同班「なかよし」班となっていました。現場での協議が不十分でしたので、再協議していただき今年度は従来の二班体制に戻しました。今年度の中で生活介護事業のあり方を総合的に学習していただき、より良い班体制を全体的に探ります。

③「入所事業さくらの家」の職員配置

現場勤務兼務となっている生活支援係長の業務円滑遂行のため、「いきいき班」から職員一名を「さくらの家」に移動します。欠員二名となっている入所支援事業においては、いかに編成してもハードな面があります。

がご協力願います。

④「SS&TS事業」と「療育事業」の窓口の一本化

入所施設機能を活用した地域支援が、近年強く求められています。児童部での地域支援をより積極的に展開するために窓口担当を一本化します。

以上。

運営組織ついてですが、職員ひとり一人の希望にあった完全な組織表となることは不可能です。縦横の様々な条件を考慮し、仁万の里の目的達成に向けて、現状の中での一番ベターと思われるところで決めなければならぬ点についてはご理解いただきたいと思います。

なお、運営組織についてはご意見やご提案は直接、所長に聞かせていただければ今後の参考にしたいと思います。

職員の欠員補充について

どの業界も人手不足の状態の中、仁万の里も慢性的な欠員状態が続いています。今回、再度、最低必要人員として

①入所支援事業（二名）

②B型事業（一名）

③事務量が膨大になっている事務職（一名）の求人をしたいと思っています。

なお、求人方法については、より積極的な募集方法を講じていかなければと考えておりますが、やはり魅力のある職場でないと人も集まってきません。給与等の雇用条件については、法人に頑張ってもらうこととして、私たち職員も「職員が来なくなる、職員が辞めたくない魅力ある職場づくり」をみんなと一緒にやっていきたいと思っております。力をお願いします。

【職員が来なくなる、辞めたくない魅力ある職場とは】

★施設が持つ目的達成に向けて、質の高い障がい福祉観と実践が行われている職場

★職員同士がかけがえのない同胞として、互いに支え合い、お互いに『いの仁万の里で出会えてよかったね!』という職員関係のある職場